

第1学年音楽科学習指導案

生徒 1年A組 (男子14名 女子15名 計29名)
指導者 教諭 佐藤 玲子

1 題材名 詩の内容と音楽が一体となった歌曲の良さを味わおう

2 教材名 「魔王」 シューベルト作曲

3 題材の目標

「魔王」の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、詩と音楽が一体となっている「魔王」の特徴を主体的に解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わうことができる。

4 「聞くこと・話すこと」の指導の工夫

鑑賞領域においては、音楽を形づくっている要素を知覚（聴き取り）し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り（感じ取り）しながら、批評する学習活動を行ってきた。雰囲気を感じ取り方があることをお互いに認め合い、伝え合う活動を位置付け、音楽に対する意識が広がるよう工夫してきた。音楽を形づくっている要素の捉え方が個人によって違ったり、語彙が乏しかったりしたため、要素の定義をカードにまとめ、自信をもって発表できるようにした。また、感受を表すカードを作成し授業の中でホワイトボードや黒板に掲示しながら生徒の考えを整理するために役立てた。曲を聴いて「～のように感じたこと」（感受）と「なぜそのように感じたのか〔要素の働き〕」を用いて理由を説明すること（知覚）の関連付けを図ったワークシートを使用し、根拠をもって話すことができるようにした。

5 題材の指導計画

次	時間	主な学習内容と○「聞くこと・話すこと」に関わる活動
1	1	・「魔王」の全体の流れを聴き、音楽の雰囲気などを感じ取る。 ・4人の登場人物をどのように表現しているかを感じ取る。 ・シューベルト・ゲーテについて理解する。
2	2 本 時	・登場人物の特徴を表すために、どのような工夫がされているかを感じ取る。 ○音楽を聴きながら、音色、旋律、強弱との関わりについて、考え理解する。 ○子と魔王の特徴的なフレーズを聴き、感じ取った理由とその根拠を発表し合う。
3	3	・ピアノ伴奏の前奏部分のみリズムに着目して聴き、何を表現しているのかを感じ取る。 ○学習を振り返りながら紹介文を書き、発表し合う。

6 本時の目標

(1) 目標

それぞれの登場人物の声の音色や、声の高さの変化、詩の内容に合わせた強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を、詩の内容と関わらせながら感じ取ることができる。

(2) 聞くこと・話すことを培う活動

○子と魔王の特徴的なフレーズを聴き、「音楽のどのようなどころからそう思ったのか」を話し合い、根拠をもって発表する。

○他との意見交流を通して、多様な捉え方や感じ方があることを認め合い、仲間の意見も大切にす
る雰囲気をつくる。

(3) 展開

	学習活動・学習内容	指導上の留意点 (◇評価)
導入 10分	<p>1 前時の学習をふり返る。</p> <p>(1) 物語の内容を確認し、4人の登場人物を1人の歌手が歌い分けていることを復習する。</p> <p>(2) 前時での意見交流から、音楽の雰囲気について感じたことを想起する。</p> <p>2 学習課題を把握する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">登場人物の気持ちの変化を要素の働きから聴きとろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の題名と登場人物を確認させる。 ・テンポよく全員で答えさせる。 ・前時での意見交流をもとに、曲を聴いて感じ取ったことについての生徒の発言の中から、「音色」「旋律」「強弱」に関わるものを整理し、提示して視覚化させる。
展開 35分	<p>3 学習課題を解決する。</p> <p>●「子」の歌の部分に着目して鑑賞する。</p> <p>(1) 全曲の「子」の部分の聴き、心情の変化を感じ取り、ワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回数を重ねる毎に、怖さが増しているようだ。 ・あせている。お父さんに助けを求めている。 <p>(2) 旋律・強弱・音色に着目して聴き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音が高くなっている。 ・だんだん強くなっている。 ・叫んでいるような声だ。 <p>(3) 歌い方の特徴をつかみやすいように、登場人物ごとにまとめて鑑賞する。</p> <p>(4) 個人で考えたことを周りと共有しながら、発表する。</p> <p>●「魔王」の歌の部分に着目して鑑賞する。</p> <p>(1) 全曲の「魔王」の部分の聴き、心情の変化を感じ取りワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穏やかな感じ ・不気味な感じ ・後半は怒っている感じ <p>(2) 旋律・強弱・音色に着目して聴き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴奏が子のときやほかの登場人物の時と違う。 ・高低の動きがあまりない ・強弱の変化があまりない <p>(3) 歌い方の特徴をつかみやすいように、登場人物ごとにまとめて鑑賞する。</p> <p>(4) 個人で考えたことを周りと共有しながら、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全曲の中の「子」の部分の音楽を聴き、歌から感じ取った雰囲気やようすを聴きとらせる。 ・ワークシートに記入する際、(1)「心の変化」(2)「旋律・強弱・音色」のどちらから記入しても良いことを伝える。 ◇「子」の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。[関心・意欲・態度] (観察、ワークシート) ◇「子」の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。[鑑賞の能力] (ワークシート) ・気軽に意見を交流し合い、多くの意見に触れる中で新しい気づきや考えや深まりを実感できるように隣同士で話し合わせる。 ・その際、感受→知覚 知覚→感受 の関わりに触れて話すよう指示する。 ・「魔王」の部分の音楽だけを流し、歌から感じ取った雰囲気や様子を聴き取らせる。 ◇「魔王」の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。[関心・意欲・態度] (観察、ワークシート) ◇「魔王」の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。[鑑賞の能力] (ワークシート)
まとめ 5分	<p>6 本時を振り返り、次時につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を手がかりにして鑑賞することで、詩の内容と音楽の関わりを感じ取ることができることを整理させる。 ・次時ではピアノ伴奏の前奏部分に焦点を当てて鑑賞するとともに、全曲を通して聴き紹介文を書くことを伝え、次時の学習につなげさせる。 ・わかったことや学んだことを記入させ、数名に発表させる。

